

越谷市地域公共交通計画の中間評価（案）

令和3年（2021年）8月に策定した越谷市地域公共交通計画（以下、「計画」という。）では、その計画期間である令和3年度から令和8年度までの6年度間の中間年度（令和5年度）には、必要に応じて計画の見直しを行うこととしています。また、最終年度（令和8年度）においては、達成状況の最終確認を行い、次期計画に向けた改善点等の抽出を行うこととしています。

このことから、計画策定から3年目の中間年度にあたる本年度においては、計画に位置付けた実施事業の進捗状況、検討・協議状況及び達成状況の評価について確認を行うものです。

1 実施事業の進捗状況、検討・協議状況等について（別紙）

事業別に、実施事業の進捗状況の確認、検討・協議事項の確認等を行いました。

基本方針1：地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成

- ・実施事業1－1 バス路線の維持・充実（継続）
- ・実施事業1－2 関係者の協働による新たな公共交通の導入に向けた取組み（継続）
- ・実施事業1－3 地域の多様な輸送資源を活用する取組みの検討（新規）

基本方針2：誰もが利用しやすい公共交通環境の整備

- ・実施事業2－1 公共交通利用環境の改善（継続）
- ・実施事業2－2 サイクル&バスライドの推進（継続）
- ・実施事業2－3 ノンステップバスの導入促進（継続）
- ・実施事業2－4 鉄道駅のバリアフリー化（継続）
- ・実施事業2－5 鉄道駅における乗り継ぎ円滑化（継続）
- ・実施事業2－6 新たなモビリティサービスの検討（新規）
- ・実施事業2－7 バスロケーションシステムの導入促進（新規）
- ・実施事業2－8 交通系ICカードの導入促進

基本方針3：「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成

- ・実施事業3－1 モビリティ・マネジメント（継続）
- ・実施事業3－2 公共交通に関する情報案内の充実（継続）
- ・実施事業3－3 バス・タクシー運転手の確保・育成（新規）
- ・実施事業3－4 シルバーサポーター制度の導入促進（新規）

2 計画に位置付けた達成状況の評価について

越谷市地域公共交通計画で定めた、計画実現のための4つの指標について確認を行いました。

	指標名	計画策定時 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標 (令和8年度)
指標1	公共交通に対する満足度	67.5%	63.1%	54.0%	64.7%	70.0%
指標2	乗合交通利用圏域のカバー率	70.5%	70.5%	70.0%	70.0%	76.5%以上
指標3	公共交通の利用頻度	35.6%	30.9%	29.7%	33.8%	増加
指標4	公共交通の利用者数	304,192人/日	235,541人/日	261,218人/日	280,119人/日	維持

3 計画の中間評価について

中間年度である令和5年度において、越谷市地域公共交通計画に掲げる実施事業の実績報告及び計画の達成状況の確認を行った結果、本市の公共交通の将来像である「地域全体でつくり育てる、利便性が高く持続可能な交通ネットワークのある都市」に向け、引き続き計画に位置付けた実施事業に取り組むとともに、未実施の事業についても実施に向け検討し、本市に適した持続可能な公共交通の推進を図ってまいります。

また、達成状況についても、現時点においてはいずれの指標も目標値には達しておりませんが、それぞれの指標の課題を整理・検討し、引き続き目標値達成に向け、取り組んでまいります。

1 実施事業の進捗状況、検討・協議状況等について

基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成(事業進捗等)					
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和6年1月末日)
		基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成	基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成	基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成	
1-1 バス路線の維持・充実	○市内のバス路線の系統図:82系統	○市内のバス路線の系統数 :74系統(新設2、廃止9) (路線バス69系統+深夜バス2系統+高速バス3系統) 新設:2路線 「せんげん台駅西口～大道(循環)」 「越谷駅東口～藤塚～越谷レイクタウン駅北口」 廃止:9路線 1. 越谷駅東口～市立病院～越谷レイクタウン駅北口 2. 吉川車庫～越谷市立病院～越谷駅東口 3. 越谷駅東口～藤塚～幸町東口 4. 南越谷駅北口～藤塚～吉川駅北口 5. 南越谷駅北口～藤塚～吉川車庫 6. 新田駅東口～南町三丁目(循環) 7. 蒲生南小学校入口～新田駅東口 8. 新田駅東口～南町三丁目 9. 大根模消防署前～吉川橋～吉川駅北口 休止:なし ○地域公共交通利用支援事業 対象:65歳以上の市民91,241人 期間:R3.6.1～R4.2.28 共通利用券:3000円(100円券30枚) 交通事業:バス6社、タクシー13社、福祉タクシー24、計43社 利用総額:16,883万円/27,372万円(61.7%) 利用割合:バス23%、タクシー75%、福祉1.6%	○市内のバス路線の系統数 :74系統(新設・廃止ともに無し) (路線バス69系統+深夜バス2系統+高速バス3系統) ○バス・タクシー燃料価格高騰対策支援事業 対象:バス6社、タクシー11社、福祉タクシー21社、計38社(407台) 支援単価:バス44,000円/台、タクシー19,000円/台 支援総額:1,090万8千円	○市内のバス路線の系統数 :75系統(新設・廃止ともに無し) (路線バス70系統+深夜バス2系統+高速バス3系統)	○市内のバス路線の系統数 75系統(路線バス70系統+深夜バス2系統+高速バス3系統) ○H28～R4路線新設等(累計) 新設:10路線 「せんげん台駅西口～大道(循環)」等 「越谷駅東口～藤塚～越谷レイクタウン駅北口」等 廃止:16路線 「蒲生駅西口～新越谷駅西口」等 「越谷駅東口～市立病院～越谷レイクタウン駅北口」等 「南越谷駅北口～吉川駅北口」等 「新田駅東口～南町三丁目(循環)」等 休止路線:2路線 (74系統に含めていない) ・「せんげん台駅東口～越谷市立病院」線 ・「せんげん台駅東口～東埼玉テクノポリス」線

基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成(事業進捗等)					
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和5年4月1日)
		基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成	基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成	基本方針1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成	
1-2 関係者の協働による新たな公共交通の導入に向けた取組み		○新方地区内公共交通導入検討協議会(5回開催) ・試験運行の計画、確認 ・予約受付体制の決定 ・乗降施設の追加について ・利用促進を図るための周知方法について ・実証運行等に関するアンケート調査の実施について ・試験運行結果及び、アンケート結果について ・今後の検討方針について ◆新方地区 デマンド型乗合タクシーによる実証運行の結果 令和3年6月1日～11月30日 事業費 : 973万9500円 運賃収入: 14万8900円 (収支率:1.5%) 決算額 : 959万600円 登録者: 722世帯 利用世帯数: 44世帯 延べ利用者数: 525人 日当たりの平均利用者数: 4.2人 利用率: 6.6% 実証運行に関するアンケートの結果について 対象世帯数1,505世帯 回答数: 617世帯 回収率40.1% 乗合タクシー 利用した世帯33世帯5.4% ミニバス(コミュニティバス)利用した世帯197世帯31.9% 乗合タクシーとミニバスを比較した場合どちらの方が、ふさわしいか ミニバス: 298世帯48.3%・乗合タクシー117世帯19.0%	○持続可能な公共交通に関する意見交換会 各地区センターで4回開催 【新方地区】 R5.1.26～2.5、87人出席、24人意見、意見書40通 【荻島地区】 R5.2.9～2.25、29人出席、15人意見、意見書3通 【増林地区】 R5.3.18～3.26、26人出席、16人意見、意見書4通	○持続可能な公共交通に関する意見交換会 各地区センターで4回開催 【大相模地区】 R5.4.15～4.30、17人出席、12人意見、意見書1通 【出羽地区】 R5.5.16～5.24、70人出席、28人意見、意見書7通 【桜井地区】 R5.5.28～7.17、84人出席、32人意見、意見書10通 【川柳地区】 R5.6.20～7.2、11人出席、10人意見、意見書3通 【大袋地区】 R5.7.4～7.22、45人出席、22人意見、意見書5通 【蒲生地区】 R5.7.6～7.30、21人出席、12人意見、意見書1通 【越ヶ谷地区】 R5.7.8～7.27、3人出席、3人意見、意見書0通 【大沢地区】 R5.8.17～8.30、21人出席、15人意見、意見書3通 【北越谷地区】 R5.9.2～9.14、11人出席、8人意見、意見書2通 【南越谷地区】 R5.9.3～9.23、16人出席、12人意見、意見書0通	○新方地区内公共交通導入検討協議会(計10回開催) ◆新方地区 デマンド型乗合タクシーによる実証運行の結果 令和3年6月1日～11月30日 事業費 : 973万9500円 運賃収入: 14万8900円 (収支率:1.5%) 登録者: 722世帯 利用世帯数: 44世帯 延べ利用者数: 525人 日当たりの平均利用者数: 4.2人 利用率: 6.6% 実証運行に関するアンケートの結果について 対象世帯数1,505世帯 回答数: 617世帯 回収率40.1% 乗合タクシー 利用した世帯33世帯5.4% ミニバス(コミュニティバス)利用した世帯197世帯31.9% 乗合タクシーとミニバスを比較した場合どちらの方が、ふさわしいか ミニバス: 298世帯48.3%・乗合タクシー117世帯19.0% ○持続可能な公共交通に関する意見交換会 各地区センターで4回開催、計52回開催 【全地区】 R5.1.26～9.23、441人出席、209人意見、意見書149通
1-3 地域の多様な輸送資源を活用する取組みの検討		-	-	-	○H28～R2の取組み実績 ◆事業者アンケートの実施 R2:市内事業者へ、旅客輸送車両の所有、道路運送法許可・登録取得状況及び車両運行状況のアンケートを実施 ・67事業者から回答(回答率45.2%) ・車両保有50件、うち28件が運送法許可登録あり

基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備(事業進捗等)の評価シート					
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和6年1月末日)
		基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	
2-1 公共交通利用環境の改善	-	○公共交通環境整備工事 決算額162万1,223円 ◆危険なバス停の改良整備 :14箇所 (越谷流通業務団地内他) ◆バス乗降環境整備 :7箇所 バスの乗降に支障となる歩車道境界ブロック等の一部撤去 (流通団地一丁目バス停2箇所、大里東自治会館前バス停1箇所、他4箇所)	○公共交通環境整備工事 工事費76万4,069円 ※事業2-5含む ◆バス乗降環境整備 :4箇所 ・土地開発に伴うバス停の移設、緑地撤去(東越谷2丁目) ・バスの乗降に支障となるバス停前の歩車道境界ブロック、植栽等の一部撤去(大杉橋、南越谷小学校) ・タクシー乗降場へのベンチ設置(越谷駅西口)	○公共交通環境整備工事 工事費40万円(ベンチ設置の請負費を除く) ※事業2-5含む ◆バス乗降環境整備 :4箇所 ・バスの乗降に支障となるバス停前の歩車道境界ブロックの一部撤去(下間久里東) ・タクシー乗降場へのベンチ設置(せんげん台駅東口・越谷駅西口)年度内予定	○公共交通環境整備工事:35施設 ○バス待ち・まち愛スポットの推進 ・バス待ちスポット 19施設 ・まち愛スポット 7施設 ◆スポットのPR R4.10 県からの依頼を受け実施
	○バスまち愛スポットの登録施設 :8施設(登録数) 出羽地区センター 荻島地区センター 南部交流館 桜井交流館 児童館コスモス 総合体育館 南体育館 県民健康福祉村	-	-	-	
	○まち愛スポットの登録施設 :6施設 新方地区センター 川柳地区センター 南越谷地区センター 赤山交流館 南越谷交流館 大沢北交流館	-	-	-	

基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備(事業進捗等)の評価シート					
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和6年1月末日)
		基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	
2-2 サイクルアンドバスライド駐輪場の整備	○サイクルアンドバスライド駐輪場の整備箇所:0箇所	—	○サイクル&バスライド駐輪場(調査・検討) ・整備対象とするバス停の選定方針及び整備方針の検討 ・選定方針に基づく市内バス停の順位付け	○サイクル&バスライド駐輪場(調査・検討) ・乗合交通利用圏域外の地域に隣接するバス停の内、市民の利用が少ない公園の一部に、サイクル&バスライドを試験的に整備することを検討する。 ・対象地2箇所 大泊(A-54児童遊園) 谷中町四丁目(F-30児童遊園)	○サイクルアンドバスライド駐輪場の整備 ・整備済箇所:9箇所
2-3 ノンステップバスの導入促進	○ノンステップ化率:79.2% 路線バス台数:125台 ノンステップの台数:99台 (内、補助台数55台)	○ノンステップ化率:90.6% 補助対象車両なし 路線バス台数117台 ノンステップの台数106台 (内、補助台数69台)	○ノンステップ化率:96.0% 補助対象車両なし 路線バス台数125台 ノンステップの台数120台 (内、補助台数69台) ※R5.2.6地公共報告時点では90%だったが、年度末の事業者宛て調査の結果、96%となっている。	○ノンステップ化率:98.4% 補助対象車両なし 路線バス台数122台 ノンステップの台数120台 (内、補助台数69台)	○ノンステップ化率:98.4% 補助対象車両なし 路線バス台数122台 ノンステップの台数120台 (内、補助台数69台)
2-4 鉄道駅のバリアフリー化	○内方線付き点状ブロックの整備済み箇所:4駅 大袋駅 新越谷駅 南越谷駅 越谷レイクタウン駅	○ホームドアの設置済駅 2駅 設置済番線 8番線 ○ホームドア整備 決算額5,016万3,998円 ・越谷駅 2・3番線の整備工事を継続実施中 ・蒲生駅 整備工事を継続実施中	○ホームドアの設置済駅 3駅 設置済番線 10番線 ○ホームドア整備 決算額7,361万9,336円 ・越谷駅 2・3番線の整備工事が完了し、R4.11.17より使用開始 ・蒲生駅 設計業務を実施。R6設置予定。	○ホームドアの設置済駅 3駅 設置済番線 10番線 ○ホームドア整備 決算額128万円(見込み) ・蒲生駅 補強工事を実施。R6設置予定。	○ホームドア整備済駅 3駅 設置済番線 10番線 (北越谷4、新越谷4、越谷2) ○内方線付き点状ブロックの整備済み箇所 7駅(北越谷以外は整備済。北越谷はホームドアを整備済) ○駅ホーム声かけサポート講習会 2回開催 H25新越谷駅、H29越谷駅

基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備(事業進捗等)の評価シート					事業実績
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和6年1月末日)
		基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	
2-5 鉄道駅における乗り継ぎ円滑化	-	○北越谷駅に誘導案内板を新規に設置 ・英語表記を追加したバス・タクシー乗換案内を西口ロータリー付近1箇所設置 ・バス乗り場及び行き先の案内を自由通路内(改札正面支柱上部)に2箇所設置	○越谷駅に乗換案内表示を設置 ・駅東口、西口のバス・タクシー乗り場及び主な行き先の案内表示を自由通路内(改札正面支柱上部)に2箇所設置 ・駅東口、西口に、英語表記を追加したバス・タクシー乗換案内をそれぞれ1箇所、計2箇所設置	○せんげん台駅に乗換案内表示を設置 ・駅東口、西口のバス・タクシー乗り場及び主な行き先の案内表示を改札正面壁面上部)に2箇所設置 ・駅東口、西口に、英語表記を追加したバス・タクシー乗換案内をそれぞれ1箇所、計2箇所設置	○鉄道駅改札付近への案内板の設置 【3駅に設置(北越谷、越谷、せんげん台)】 ・バス乗り場及び行き先の案内を自由通路内の改札前支柱上部に設置。英語表記あり。 ・北越谷駅西口、越谷駅東・西口、せんげん台駅西口・東口ロータリーに、バス・タクシー乗換案内図を設置。
2-6 新たなモビリティサービスの検討	-	-	-	○新モビリティサービス推進協議会の設置の検討 将来、MaaSを検討するに当たり、基盤となるキャッシュレス決済のシステムを検討するため、活性化再生法第36条の4の規程に基づく、協議会の設置を検討する。 事前ヒアリングを令和6年1月開催	-
2-7 バスロケーションシステムの導入促進	-	○バスロケーションシステム導入済み事業者数 6社中3社が導入済 (導入済) 朝日自動車 国際興業バス 東武バスセントラル (未導入) 茨城急行 ジャパントローズ グローバル交通	○バスロケーションシステム導入済み事業者数 茨城急行自動車がR4.4に本格導入し、6社中4社が導入済となった。 (導入済) 朝日自動車 国際興業バス 東武バスセントラル 茨城急行自動車 (未導入) ジャパントローズ グローバル交通	-	○バスロケーションシステム導入済み事業者数 6社中4社が導入済 (導入済) 朝日自動車 国際興業バス 東武バスセントラル 茨城急行自動車 (未導入) ジャパントローズ グローバル交通

基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備(事業進捗等)の評価シート					事業実績
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和6年1月末日)
		基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	基本方針2 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	
2-8 交通系ICカードの導入促進	-	○交通系ICカード導入済み事業者数 4社／6社 が導入済 (導入済) 朝日自動車 茨城急行 国際興業バス 東武バスセントラル (未導入) ジャパンタローズ グローバル交通(PayPay可)	-	-	○交通系ICカード導入済み事業者数 4社／6社 が導入済 (導入済) 朝日自動車 茨城急行 国際興業バス 東武バスセントラル (未導入) ジャパンタローズ グローバル交通(PayPay可)
基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成					事業実績
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和6年1月末日)
		基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成	基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成	基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成	
3-1 モビリティ・マネジメント	-	新型コロナウイルスにより、予定していた公共交通関連講座(バスの乗り方教室)は未実施	○バスのバリアフリー・乗り方教室 日時:R4.11.26 産業フェスタ 参加者:のべ81名 主催:埼玉運輸支局、市都市計画課 共催:県バス協会、朝日自動車㈱、社会福祉協議会 その他:バス運転士のお仕事紹介ポスター、参加者の個別記念撮影(制服等着用)	○バスのバリアフリー教室 日時:R5.10.28 産業フェスタ 参加者:のべ133名 主催:埼玉運輸支局、市都市計画課 共催:県バス協会、朝日自動車㈱、社会福祉協議会 その他:バス運転士のお仕事紹介ポスター、参加者の個別記念撮影(制服等着用)	○H28～R5の実績 ○モビリティ・マネジメントのイベント開催 1回 ・バスのバリアフリー・乗り方教室の開催(産業フェスタ) ○公共交通関連講座等の実施回数 1回 ・まちづくりを支える公共交通網について

基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成					事業実績
事業区分	計画策定時	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計実績 (平成28年度～令和6年1月末日)
		基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成	基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成	基本方針3 「みんなで公共交通に乗って、守り、育てる」意識の醸成	
3-2 公共交通に関する情報案内の充実	〇こしがや公共交通ガイドマップの作成 :7,000部 主要な配布先 役所、地区センター等 4,100部 公共交通事業者 1,100部 観光協会 100部	〇こしがや公共交通ガイドマップの作成(令和3年度)決算額59万4,000円 12,000部 ・主な変更点 ・バスロケ・タクシー配車アプリの2次元コードを追加 ・観光施設の表示をアイコン化 ・主な配布先 庁内、地区センター、市立病院等 約4,400部 越谷警察署 約3,300部 交通事業者 約1,000部 観光協会 約300部 民間宿泊施設150部	〇こしがや公共交通ガイドマップの作成(令和4年度)決算額52万8,000円 12,000部 ・主な変更点 ・タクシー事業者のURLを2次元コード化して追加 ・観光施設のアイコンを追加 ・施設行き方一覧に観光施設を追加 ・主な配布先 庁内、地区センター、市立病院等 約4,400部 越谷警察署 約3,300部 交通事業者 約1,000部 観光協会 約300部 民間宿泊施設150部	〇こしがや公共交通ガイドマップの作成(令和5年度)決算額79万2,000円 12,000部 ・主な変更点 ・タクシー事業者の問い合わせ欄のレイアウトを変更(写真、支払い方法の追加) ・タクシー料金の改定による変更 ・主な配布先 庁内、地区センター、市立病院等 約4,400部 交通事業者 約1,000部 観光協会 約300部 民間宿泊施設150部	〇こしがや公共交通ガイドマップの作成 vol.8まで作成
3-3 バス・タクシー運転手の確保・育成	-	-	-	〇公共交通担い手確保フェアの開催 タクシーの運転手が不足している中、埼玉県東部中央ハイク協賛会とタクシー運転手の魅力を知ってもらいイベントを開催 第1回開催：R5.11.26 第2回開催：R6.3.6(予定) 〇バスのバリアフリー教室	〇公共交通担い手確保フェアの開催 ・タクシー運転手募集イベント 2回 ・バスのバリアフリー・乗り方教室の開催(産業フェスタ)
3-4 シルバーサポーター制度の導入促進	-	-	-	-	-